

輸出事業計画

※申請者名：ケンコーマヨネーズ株式会社、品目：ソース混合調味料

1. 輸出における現状と課題

現在、ドレッシング類の輸出は、業務用商品を国内輸出業者へ販売し、現地へ供給している。国内人口の減少、海外でも中食・内食市場が伸びているリテール向けの展開が必要である。しかしながら、北米地域では当社のロゴは商標登録の問題により、現状の商品ラインナップではリテール向け、EC市場に投入できる商品がない。その為、各国の規制に適合しつつ、海外消費者に選んで頂くためにパッケージデザイン及び形態を新たに開発することとした。

【課題】

- ・国内で使用しているロゴは海外企業が商標登録しており訴訟などのリスクがある
- ・商品ラインナップが500ml・1,000mlの業務用向け（容量が大型のもの）しかない
- ・ディストリビューターの現地支店、ユーザーと直接商談の機会を作れず、当社の販売戦略を展開できない

2. 輸出事業計画の取組内容

商品・包材 開発

- ①リテール向けに 200ml 形態を商品ラインナップに追加
- ②ロゴマークの変更
- ③現地のユーザーにテイストが一目でわかり、日本製のドレッシングである事が視覚的に捉えることができるデザイン、包材の開発

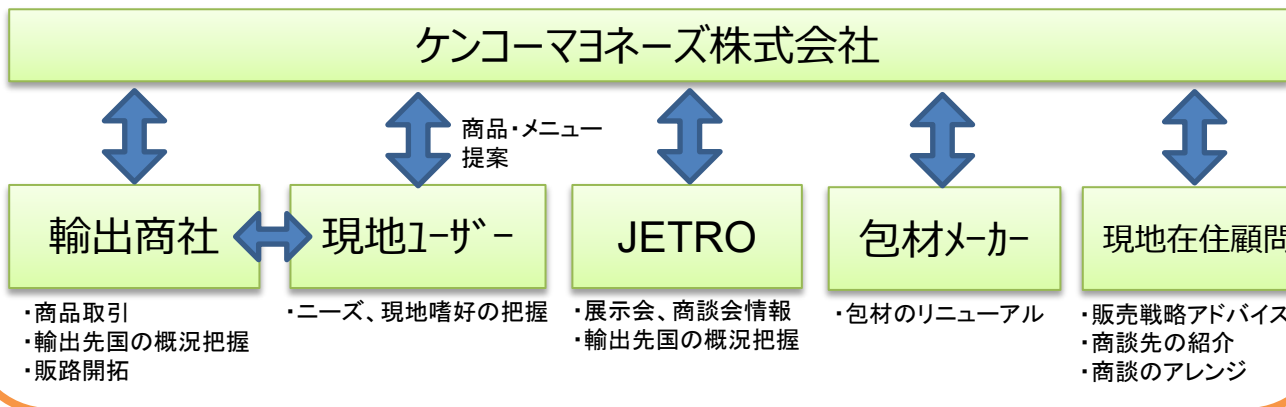
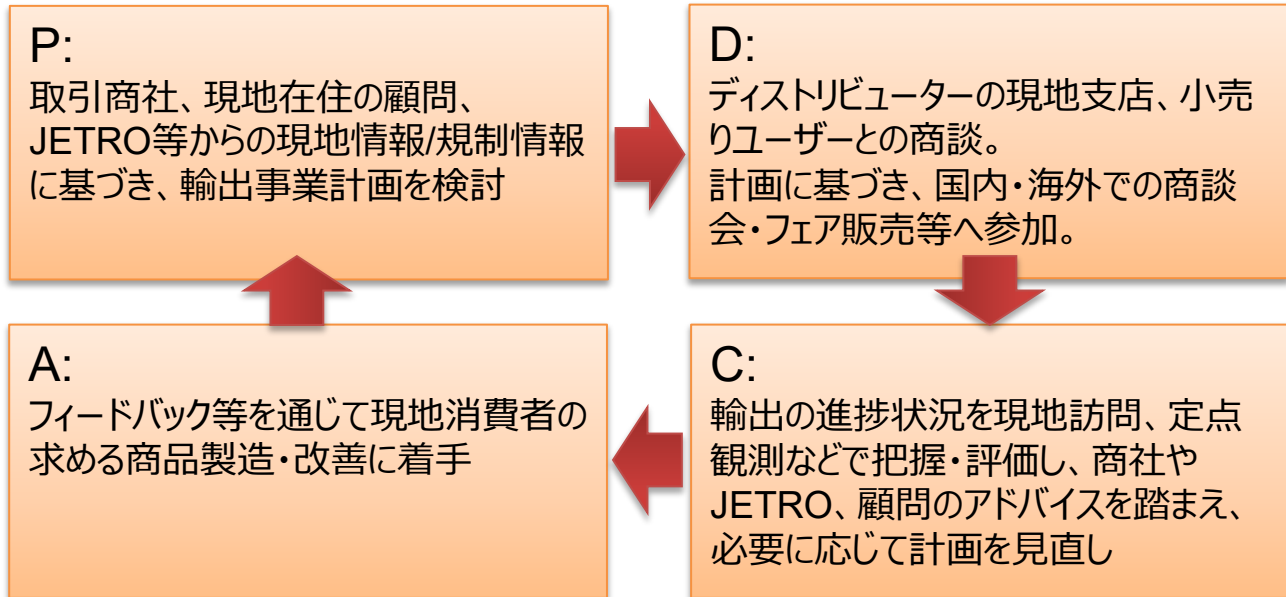
販売

- ①ディストリビューター現地支店との商談実施
- ②現地エージェントのコネクションを活かした小売ユーザーとの商談実施
- ③海外EC市場参入の検討

輸出事業計画

※申請者名：ケンコーマヨネーズ株式会社、品目：ソース混合調味料

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状 (令和3年度)	目標年 (令和6年度)
輸出額	92,089万円	130,000万円
輸血量	2,226 t	3,150 t
輸出先国	アメリカ、台湾、香港、オーストラリア、他	アメリカ、台湾、香港、オーストラリア、他